

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【公表番号】特表2007-513632(P2007-513632A)

【公表日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2007-020

【出願番号】特願2006-544043(P2006-544043)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 5 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 5 4】

例13：ノザンプロットによる、トリコダーマ・レセイCel6AセロビオヒドロラーゼII mRNAの検出：

トリコダーマ・レセイCel6AセロビオヒドロラーゼII逆方向反復体フラグメント(pSMai 148)の株への組込みが、トリコダーマ・レセイCel6AセロビオヒドロラーゼII mRNAの量の低下をもたらすかどうかを決定するために、ノザンハイブリダイゼーションを行った。全RNAを、例11において得られる、凍結された菌糸体から、FenozolTM(Active Motif, Carlsbad, CA)を用いて、及びその製造業者によりわずかに改良されたプロトコールに従って、抽出した。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 2 5 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 2 5 8】

その核酸配列は、組み込み現象がアスペルギラス・フミガタスwA遺伝子(受託番号Y173 17)の相同のための読取枠内に存在したことを示唆した。74%の核酸相同性が見出され、そして開放された遺伝子座の400bpフラグメントの推定されるアミノ酸配列(配列番号42)が、アスペルギラス・フミガタスwA遺伝子の推定されるアミノ酸配列に比較される場合、71%の同一性を共有した。wA遺伝子は、野生型胞子における緑色の色素の合成に關与するポリケチドシンターゼをコードする。この遺伝子の変異体は、色素を欠失し、そして白色を出現する胞子を生成する。アスペルギラス・ニジュランスにおけるwA遺伝子の破壊は、アスペルギラス・オリザエP2-5.1の觀察される表現型である、胞子の色を白色に変えることが知られている(Mayorga and Timerlak, 1992, Mol. Gen. Genet. 235: 205-212)。

。